子どもの「学ぶ力」を育てよう！

子どもたちの「学ぶ力」は、学校と家庭・地域とが連携・協力して初めて身につきます。京都市では子どもたちの学ぶ力を育てるため、教育改革を積極的に進め、全国からも熱いまなざしが注がれています。また、家庭でも、「家庭学習の手引き」の作成、配布や、「家族の宿題」のアピールを通して「家庭を学びの環境に」する実践が着実に成果をあげつつあります。

充実した学習指導を目指して

砂田信夫指導部長

前号で「京都の教育」を特集したところ、たいへん大きな反響があり、本市独自の取組をさらに詳しく聞きたいとの読者の声を多数いただきました。そこで、保護者の質問に砂田信夫指導部長がお答えします。

学習内容について

？ 学力向上のため、京都市では国が定めた学習指導要領を超えた「発展的な内容」を積極的に指導されていると聞いています。ただ子どもによっては理解度の違いにより、「基礎的な内容」を反復して学習した方がよい場合もあるのではないかと思いますが、実際にはどのように授業を進められるのですか。

小学校では、今年度から「発展的な内容」を含む教科書が使われています。中学校は来年度から。本市では、多くの先生方の意見を基に子どもの興味関心を高め、学習効果を上げる「発展的な内容」については積極的に取り上げ、全ての子どもに指導しています。一方、ご指摘の「基礎的な内容」を復習し、学習のつまずきを取り除くために、全国でも類のない補充発展教材**「わかる・のばす事例集」**（写真）を本市独自に作成し、一人一人の子どもに焦点をあて習熟度別授業や個別学習、放課後の補習などで、繰り返し学習し、学力の定着を図っています。

授業日数について

？ 市立学校では、夏休みなどを短縮して授業日数を増やし、来年度はさらに全校で205日以上にするとのことですが、夏休みなどが短くなるのでしょうか。夏休みなどの計画とも関係するので教えてください。また、これは他の市町村と比較してどのようなものでしょうか。

市立小中学校は、すでに今年度から基準の授業日数（198日）を上回る200日以上の授業日数を設定し、子どもの学力向上に努めています。来年度の授業日数は、今年度の夏休みの状況や年度初めの授業開始日などについて検討した結果、小・中学校で始業式を4月6日にするなど、基準より7日以上増やし、全国最多の205日以上を確保することといたしました。

夏休みなどにご予定もあると思います。各学校からはできるだけ早く、来年度の予定を知らせします。

なお、暑い夏でもしっかり学習ができるよう、全国大都市で初めて、今年度すべての中学校に冷房設備を設置。来年8月24日までにすべての小学校にも設置します。

カリキュラム開発支援センターについて

？ 市立学校の先生方の授業力は日々の研鑽により、全国でも高いと聞いています。先生方の研究の場として開設された「カリキュラム開発支援センター」はどのように活用されているのですか。

一昨年に京都市総合教育センター内に政令指定都市で初めて開設。熱心な先生方が連日夜9時まで、さらに、土曜日も活用し、授業の充実を図っています。年間6千人をこえる先生方が来館。すぐに役立つ水準の高いモデル指導案やすばらしい授業記録VTRなどを活用。また、経験豊かな指導主事らが、先生方のさまざまな要望や相談に応えるなど、先生方の指導力の向上に大きく貢献しています。全国から見学者が後を絶たず、注目を集めています。

どの子も伸ばす「京都の教育」！

京都市の授業日数は全国一に！

楽しく，わかる授業を目指し，夜も土曜もオープン！

「家族の宿題」～我が家の場合～

一日一回、みんなで笑おう！
～笑って健康家族～

玉岡信子●西院小2・5年保護者

笑いは体にいいらしい。娘たちが言う。「お母さん、笑いすぎ。百歳まで生きられるわ。」友人が言う。「よう笑うね。ストレスないの？　ガン保険いらんね。」ふむ。笑いで健康を保てるなんて素晴らしい！　主婦のはしくれとしてこれを家族の健康に利用しない手はない。

そこで夏休みのある日、娘たちに提案。「今日から一日一つ笑える話をみつけて、夕食の時にみんなで笑おう！」はじめは「何それ？」「無理」と言っていた娘たちも、翌日からちゃんと笑いの種をみつけられるようになった。内容は、世話している地域猫のちょっとしたしぐさなどたわいのないこと。それでいい。ほのぼのとした笑いがいい。娘と私の笑い声につられて主人も笑う素敵な時間。これで健康（？）なんて幸せ！

娘たちのこれからの人生、いろんなことがあるだろう。でもささやかなことで笑える心があるなら、きっと心身すこやかに過ごせるだろう。こんな習慣を身につけられたのも、教育委員会や学校、PTAなどがなんとも変わった宿題を出してくれたおかげやね、とまた笑う。ありがたいことである。

たった一日だけど、心に残るすばらしい一日

安田陽子●御所南小2年保護者

うちは母子家庭で、毎朝小2の子は学童へ、中1の子はクラブ、私は仕事、といった具合に一日中家族はバラバラです。夏休みには全員で旅行でもしてみたいものですが、なかなか時間と費用の都合がつかないのが現状です。しかし、今年は心に残るすばらしい一日が送れました。

中1の子の夏休みの宿題が「身近な地域の探検コース」を作ることだったんです。ふだんの勉強は教えられなくても、これならいけると内心喜びました。

ある晴れた日曜日、カメラとメモ、そしてお茶とタオル、まるで遠足気分で出かけることにしました。私も子どもになりつつ、ガイドをしながら、社寺まわり、山へ登るなどしました。私の知っている限りの説明を子どもにしてやると、興味深く聞き入ってくれました。最後のおまちかねタイムは「川遊び&おやつ」にしました。下の子は、はしゃぎすぎて全身ずぶぬれになりながらも遊んでました。いつも上からながめている川に入ったという感動、水のきれいさ、つめたさ、体いっぱいで感じとっていたのだと思います。

忙しくバラバラの家族が、たった一日でも満足でき、親から子へ話をつなげることができるのです。なんてすばらしい事ではないでしょうか。私たちの家族はしあわせです。来年もまたきっとすてきな想い出を作りたいと思います。

親子で家庭学習

組谷和美●紫明小2年保護者

夏休みに入り、毎日学校の勉強会やプールに行く娘を見て、子どもは学校や友だちと遊ぶのが本当に好きなんだなあと感心していました。ただ、6月頃から宿題がわからなかったり、忘れ物をすることが多くなり、荒れというと大げさですが、不安な様子を感じていました。真面目に行っていた勉強会が終わり、プリントを持って帰ってきて愕然としました。わかっているはずの内容が半分も出来ていないのです。

この日から親子で「夏休みの宿題」を決めました。毎日、午前中は勉強をしようという目標を立てました。まず漢字は、2年生の4月からのドリルの復習。もう二度漢字をノートに書くことをやりました。偶々花の組み合わせを説明しながら、①読みながら②画数を数えながら③熟語を言いながら、視覚、聴覚から覚える方法で進めていきました。毎日一ページを目標にして、少しずつ積み重ねるのが漢字の勉強だ、と励ましました。次に算数ですが、4月からのおさらい、そして教科書と同じ形式で問題を作り、ワンポイントアドバイスを入れながら、毎日2ページがんばりました。

夏休みが終わり実感したのは、繰り返し、行きつ戻りつ根気よく毎日こつこつ勉強することの大切さです。これがわかっただけでも私たち家族にとって、とても有意義な取組でした。今後も気を抜かず頑張っていこうと思っています。

親子で一緒にできる「家族の宿題」を

夏休み前に市立学校・幼稚園の全家庭へ向け、家族で一緒にできることに積極的に取り組んでいただくようアピールした「家族の宿題」を配布し、体験談を募集したところ、多くの実践が寄せられました。その中から、今回は3家族の実践をご紹介します。

弥栄中の人権劇

NHKで特集 全国から絶賛 感動の渦

森田恒雄 京都市総合教育センター指導室長（前・弥栄中学校校長）

NHKの人気番組『プロジェクトX』で伏見工ラグビー部を取り上げた「ツッパリ生徒と泣き虫先生」の中で「ツッパリ生徒」の出身校とされた弥栄中。その通り、私が着任した当時、「校内暴力」の嵐が吹き荒れていた。その学校が昨春、NHKの「わくわく授業」で、今年の2月には「にんげんドキュメント」で取り上げられた。「アノ弥栄」が全国に誇れる学校に生まれ変わったのである。

弥栄中には社会的に被差別の立場におかれた生徒が多く在籍し、将来展望が持てずにいた。巣立っていく生徒の進路保障を最優先に考え、問題行動が多発する中、生徒指導より学習指導に力を入れることで、学習から逃げてきた生徒たちの意識が変わった。

また、差別について敏感な生徒たちはうわべだけの人権指導では心を動かすことはない。あるとき、一人の教員が学年劇で部落差別を扱った「七分の一の命」という劇に取り組みたいと脚本を持ってきた。様々な不安があり、内心穏やかではなかったが、演じてみれば予想を超えた成果をもたらした。正面から部落差別を扱った劇は生徒の心を動かし、人の心も熱くした。

その後、弥栄中の人権劇は様々な社会問題を扱い、地方公演を依頼されるまでになった。このことで生徒たちは自信を深め、劇を土台として、自分の差しい思いを安心して語り合える仲間意識を高める人権教育を実現した。

今年8月の地域教育フォーラムでの人権劇。全国の教育関係者からも絶賛されました

教育は常に創造的な実践と結果を出すこと

かつて授業が成立せず、人権を考える教育など到底できなかった学校が、他から絶賛されるようになった。心を拓いた生徒は、教職員や生徒を変え、学校・家庭・地域までも変えたのである。「弥栄だからできた」と自信にする。しかし私は「弥栄でもできた」と思っている。新しい一歩には不安はつきものである。人権劇がそうであったように「教育は常に創造的な実践と結果を出すことにある。あしたのために、いつの時代においても情熱と使命感を失わず、子どもと向き合い、指導しきる教育は必ず実を結ぶものと信じる。

読書大好き！③

前号に引き続き中学校での取組を紹介します。中学校では各学校での様々な取組のほか、生徒会の図書委員会が特色ある活動を行っています。

よみきかせ（大宅中）

小学生に「よみきかせ」

大宅中ではこニ数年,図書委員が校区の小学校に出向き,絵本の「よみきかせ」を行っています。「よみきかせ」をすることで,中学生自身が絵本の世界に入ることができ,そしてその感動を年下の子どもたちに伝えているのです。幼いころ「よみきかせ」をしてもらった経験のない中学生も,生徒同士で練習をする中でそれを体験できます。これは受動的な「よみきかせ」ではなく能動的な「よみきかせ」であり,中学生にとって効果的な刺激となっています。また小学生にとっても,身近なお兄さんお姉さんからの「よみきかせ」は先生や大人とは違った魅力があり,目を輝かせて聞き入っています。

また,栗陵中でも,地域の図書館などで「大型紙芝居」を行うなど,同様の取組を行っています。

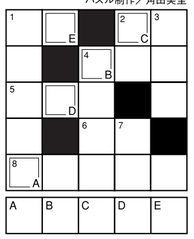
大型紙芝居（栗陵中）

中学生による「ブックトーク」

大宅中ではこれ以外にも文化祭において図書委員を中心に「ブックトーク」を実施しています。図書室の本を一冊選び,他の生徒から「読んでみたいなあ」という気持ちがわくように,内容を劇にして,ステージから全校生徒に向けて紹介をするのです。大人からの紹介だと,押しつけがましく感じてしまう生徒たちも,同じ生徒からのおすすめの一冊には興味関心が持てるようです。このような取組を通して「図書室に行ってみようかな」と思える生徒が一人でも増えることを期待しています。

第40回 クロスワードパズル

パズル制作／角田美里



ヨコのカギ

①一年で一番最後の日です
②くすきりにかけるおいしい黒○○。関西ではところてんにもこれです。
③鶏肉を英語で？
○○○ナゲット、フライド○○○
④①の次の日、一年で一番最初の日は？
⑦お酒の醸造で有名な兵庫県南東部の地域名です
⑧そろそろ来年のものを用意しなくっちゃ！

タテのカギ

①落語の導入部はまくら、最後は○○といわれます
②まだ知らないこと、知られていないこと。○○への挑戦
③音楽を演奏するために用います。弦○○○、管○○○、打○○○。
④音楽を演奏するために用います。
⑤前代○○○のできごとですね
⑥ここからポタモチが落ちてくる？
⑦ありがたい○○○
⑧お酒の地域名です

応募方法

ハガキにクイズの答え（ABCDE）・住所・氏名・電話番号を明記の上
〒604-8571〈住所不要〉
京都市教育委員会　生涯学習部
「あしたのために」クイズ係　宛

正解者の中から30名に図書カード1000円分，20名に青少年科学センター入場券1枚を進呈。

●青少年科学センター入場券の当選者は，発送をもって替えさせていただきます。

●第40回クロスワードパズルの当選発表は次回に掲載

締め切り日／平成18年1月13日（金）当日消印有効

第167号の解答

A ツ B キ C ミ D ダ E ン F ゴ

■図書カード第167号当選者のお名前

大西美千代　坂根　亜美
千賀　由紀　宮木　加代
日比野　亘　坂口　佳子
倉本千鶴子　前川　智子
内田久美子　長山あかね
市田　彩香　中川　美佳
後藤　崇文　麦田げいや
村田　惠子　前原　唯乃
後藤　幸恵　黒田　西村
奥村　有香　青雅　新
近本　耀恵　品川　汀紗
永島　佐藤　悦子
山田　岡本　清子
野田　縛子　唯子
張　龍野　里美
〈敬称略〉

※1,032人の皆さん，ご応募大変ありがとうございました。

●「あしたのために」に対するご意見・ご感想もお待ちしております。

インフォメーション

京都市生涯学習市民フォーラム総会・特別座談会

「京都に学ぶ 時代を拓く」

参加無料

～京都創生を市民ぐるみで考える～

「京都創生百人委員会」委員を務める4名の特別座談会を開催

講師（敬称略）
中坊公平　生涯学習市民フォーラム会長
麻生圭子　エッセイスト
井上満郎　京都市社会教育委員会議議長　京都産業大学教授
川勝平太　京都市社会教育委員　国際日本文化研究センター教授

平成17年12月19日（月） 14:30～16:30
京都産業会館シルクホール
下京区四条通室町東入

定員／700名（先着順）
申込方法／FAX・Eメールで。特別座談会希望と明記のうえ，住所・氏名・電話番号（FAXでお申し込みの方はFAX番号）を記入（手話通訳，託児が必要な場合は，その旨を明記）。

●お申し込み・お問い合わせ
京都市教育委員会生涯学習推進担当
☎222-3184　FAX.213-4650　Eメール shogaigaku@edu.city.kyoto.jp

第20回記念 京都市小学校 大文字駅伝大会

平成18年 2月12日（日）
10:45～
衣笠小学校前スタート

大文字を背景にした10区間17.437mのコースを，市内各地から選ばれた小学6年生で構成された51チームが駆け抜けます。1本のたすきを懸命に繋いで走る児童に，大きなご声援をお願いします。

20回目を迎え，京の冬の風物詩となった「大文字駅伝」

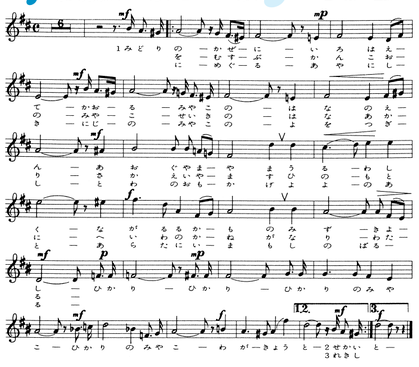
●お問い合わせ　体育健康教育室　☎213-5473

「京都市歌」をご存じですか？

それぞれの学校では，子どもたちが市歌を身近に感じられるよう，始業前や休憩時間に流したり，音楽の時間に歌ったりしています。今日も，美しいメロディとふるさと京都を見事に綴った歌詞が，京都に住んでよかった，もっと京都をよくしていきたいという思いのこもった子どもたちのさわやかな歌声となって，学校に響いています。

明るく元気よく　**京都市歌**

作詞：藤山於菟路
作曲：諸井　三郎



1.
みどりの風に色はえて
かおる都の花の宴
あおぐ山々うるわしく
ながるる加茂の水清し
ひかりの都わが京都

2.
世界を結ぶ観光の
都世紀の花あかり
栄えいやます日のもとに
平和の鐘が鳴りわたる
ひかりの都わが京都

3.
歴史にめぐるあやにしき
虹の都の世をつぎし
永久におもかげ代々のあと
新たにいましもしのばるる
ひかりの都わが京都

京都市歌の曲・楽譜は京都市のホームページからダウンロードできます。アドレスはhttp://www.city.kyoto.jp/koho/outline/song.html

特色
スミ
2°
裏